

＜単位制による定時制の課程＞

1 令和6年度 学校経営計画

1 スクール・ミッション

静岡県中部地区における単位制の課程の高等学校として、様々な背景を抱える生徒の「学び直し」の実現と「自己肯定感」の向上を目指す多様性のある教育課程を通して、自己の特性を理解し、自他の生命や存在を尊重するとともに、規範意識を身につけ、社会的に自立し生きがいを持って人生を送ることができる人財の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
○自立(自律) ・自らの個性を知り、健やかな体と豊かな心を育む力 ・自らの存在に価値を感じ、静岡中央高等学校での学びを活かす力 ○挑戦 ・自ら学び続ける姿勢を持ち、具体的な将来像に向けて努力する力 ・自分の持てる力を信じ、表現する力 ○創造 ・人とつながりをもち、多様性を認め、自分らしく生きる力 ・広い視野を持ち、自己を見つめ、自分の未来を創る力	○ゼミ活動(総合的な探究の時間、特別活動) ・生徒や教師との関わりの中でのコミュニケーション力の育成 ・社会性を身につけるために、個に寄り添ったキャリア支援 ○教科指導 ・基礎学力の向上と個に応じた学習支援 ・主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、生徒が互いに学び合う学習活動 ○人と関わる生徒支援 ・他者との関わりから自己理解を深め、人とのつながりと貢献する気持ちを育成 ・外部人材との連携による自分らしいライフデザインづくりをサポート	・自ら学ぶ姿勢を持ち、進路実現に向けて努力を続けることのできる生徒 ・「学び直したい」という意欲のある生徒 ・ルールやマナーを守り、自分と他者、学校を大切にできる生徒 ・視野を広げ、多様性を受け入れることのできる生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 多様な生徒が自己の良さを見つけ、生き生きと学ぶことで進路実現を図ることができる指導体制の工夫・改善
- イ 不登校、長期欠席、特別な教育的支援が必要とされる生徒などが学習や生活についての「学び直し」を行うための適切な指導体制の整備
- ウ 有徳の人を目指し、自らを律し、他を思いやることのできる豊かな心と健康な身体の育成
- エ チーム学校の構築による、安心して学校生活に取り組める教育環境の整備
- オ 適切な情報発信や、将来構想委員会での学校の在り方検討に基づく改革

3 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア	・ICT活用等により興味関心を引き出す授業、わかる授業の実践 ・生徒の実態に対応した履修指導体制の改善	・「主体的・対話的で深い学び」を可能とする授業形態の導入と工夫 ・生徒の実態、学校の実情に適した履修登録方法の工夫・改善 ・学習上・生活上の必要性に応じたICT活用	・ICT活用等により「授業がわかる」生徒75%以上を維持する ・履修率が75%以上になる ・授業においてICTを活用した教員が100%	教務課 研修課 情報課 各教科
	・生徒の学力向上に向けた授業改善	・基礎基本の徹底による基礎学力の定着、学んだ知識を活用して学びを深める授業改善を目指す	・生徒の実態を把握し、授業改善に取り組んだ教員が90%以上になる	教務課 各教科
	・新学習指導要領実施に向けて生徒の実態に応じた教育課程の実施	・観点別評価の3観点「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」についての評価規準の実施及び課題の改善	・令和6年度開講科目の評価規準の実施における課題等について月1回の教科会議等で検討する ・令和7年度開講科目のシラバスを作成する	教務課 各教科
	・進路意識を高め、キャリア教育を適切に実施し、早期に準備を始める進路指導体制の整備	・校内組織及び外部機関との連携による多様な生徒に対応できるキャリア教育・支援の計画的実施	・進路の情報を積極的に活用し主体的にキャリアデザインに取り組む生徒が増加する	進路課 年次

イ	時代の変化に応じた教育を実現するための教職員の資質向上と研修広報の充実	- 指導力向上に向けた定期訪問の活用及び校内研修の充実 - キャリアステージに見合った研修への参加促進	研修成果が教育活動の改善に役立ったと答える教職員の割合が80%以上になる	研修課 管理職
	特別な教育的支援に関する理解の促進と連携体制の強化	- 校内外の連携体制の整備 - 支援に役立つ情報の収集と提供 - 日常的なミニケース会議の実施 - 対象生徒に係る個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成	学期末、年度末の情報共有作業が職員間に定着し、共通理解が深まる	教育相談室 保健課 情報課 年次 特支 Co
	心の栄養となる読書活動の推進	季節やイベントに連動した展示、幅広い図書の紹介による読書週間の啓発	図書室利用者数1日平均40人以上になる	図書課
ウ	生徒会・部活動の活性化	- 生徒会による全員参加が可能な文化祭の企画運営の工夫 - 部活動活性化のための職員室前掲示板の有効活用、広報活動	- 文化祭の生徒の満足度が90%以上になる - 部活動に意欲的に取り組んでいる生徒が70%以上になる	生徒課
	食習慣や健康に関する正しい知識を持たせる	- 保健だより等による啓発活動 - 朝食調べを活用した啓発活動 - 薬学講座等による啓発	- 朝食摂取率が向上する - 薬物、飲酒、喫煙の依存性を理解できている	保健課
	豊かな心と健康な身体の育成	ゼミ活動を通じての豊かな心と健康な身体の育成	基本的な生活習慣の確立、学校内の環境の整備ができています	各ゼミ 生徒課 保健課
エ	いじめの未然防止 人権意識の高揚	- 生徒課、教育相談室、年次の指導分担の工夫改善と連携体制の強化 - きめ細かな情報収集と対応 - アンケート結果等の情報共有	いじめ事案の発生をゼロ件、学校生活が安全で安心できると答える生徒85%以上とする	生徒課 研修課 教育相談室 年次
	防災教育、安全教育、環境教育の推進	防災計画及び危機管理マニュアルの見直し	南海トラフ地震、Jアラート等の記載事項を最新の内容に更新する	総務課
	安心安全な教育環境の整備	「C ラーニング」、生徒個人情報端末等 ICT 機器の活用による情報共有 - 予算を有効活用した計画的な整備及び確実な維持管理 - 定期的な巡視による危険箇所の早期改善	- 生徒、職員が相互に情報共有し、安心感のある環境整備を図る - 校内での事故件数をゼロにする	関係各課
	コンプライアンス遵守	- ハラスメント対策、交通安全、情報管理等の徹底 - 予算の適正な編成及び執行 - 生徒個人情報管理及び、生徒個人情報端末・ネットワーク管理や教職員のセキュリティポリシーの遵守の徹底	- 教職員による交通事故をゼロにする - 会計処理手続きを周知徹底し、適正に運用する - 校内での情報に関する事故ゼロ及び不祥事ゼロ	全教職員
オ	PTA 活動の強化と保護者への支援（啓発）活動の実施	サイネージ・ホームページ等による情報発信と従来からの保護者あて通知による意思疎通と交流活動	保護者等への適切な情報提供を行う	総務課 情報課
	入学希望者の発掘と情報提供の充実	- 入学希望者が「知る」「わかる」「深まる」学校説明会 - 本校の理念と教育システムを伝達する中学校訪問 - 魅力を伝える学校案内、学校 HP の工夫	入学希望者選抜志願者数の定員確保を目指す	管理職 年次 教務課 総務課
	社会の要請を見据えた学校改善・改革	探求活動に関するPT（プロジェクトチーム）等を含め多くの職員が参画できる機会の提供	- 短期的に解決すべき学校体制の見直しの必要性を全職員が共有する - 社会の要請を見据えた学校のグランドデザインの作成に着手する	関係各課
	業務分担の明確化による多忙感の解消	- 定時出退勤日の完全履行 - チーム学校の構築に向けた外部人材の積極的かつ有効な活用	- 定時出退勤日の履行率が向上する - 外部人材の活用実績が増加する	関係各課